

## 旧麻績小学校校歌を歌う（全校音楽のご案内）

旧麻績小学校校歌

浅井 洌 作詞  
作曲者 不明



旧麻績小学校 校歌

麻績の児童のために 浅井 洌 作詞  
昭和六年一月一日 麻績尋常高等小学校

一 雲井に高くそびえたる 冠着山の剛健しさは  
大丈夫が冠着て 君に仕ふる姿なり

二 朝夕仰ぐ聖山 聖人の教かしこみて

三 志と身とに身を励み 君と親とに仕べし

四 麻績川水の夜登に 涙よとますゆくことく

五 見よ山はふりし世の 今も昔もかたるなり

50周年を迎える麻績小学校。その「旧校歌」の楽譜を、中島先生がつけてくださいました。「全校音楽の時間に歌ってみましょう」と取り組みが始まっています。全校音楽では、5年生の歌声を聴き合って、全校児童で麻績小学校の懐かしい「宝もの」に触れ、全校で歌ってみます。

この曲は、昭和6年に浅井 洌（れつ）先生が「麻績小学校の児童のために」と作詞してくださっています。

お家の皆様、どなたか覚えておられる方がおられるでしょうか。ご近所の方で、昔話に詳しい方がおられたら、お声をかけてみてはいただけませんか。麻績小学校ではこの旧校歌について、何か教えていただける方がおいでしたら大変ありがたいです。ご協力よろしく願いいたします。

さて、全校音楽の時間に、と一緒に歌ってくださる方は、ぜひご来校ください。日時や場所については以下ようになります。

このことについては、村内放送でも呼びかけをさせていただきます。

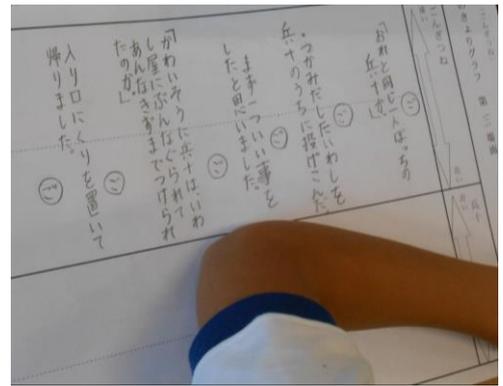
【日時】10月11日（金）朝の活動の時間 8時20分から35分です。

【場所】麻績小学校体育館（どうぞご遠慮なくお入りください）

## 4年生「ごんぎつね」の授業

4年生国語の授業を参観させていただきました。「ごんぎつね」に登場する「兵十とごん」、ふたりの気持ちの移り変わりを『心のきよりグラフ』にあらわす場面でした。ごんについて書かれた文を次々と拾い出した子どもたちは、そこでごんの気持ちが兵十に近づいたと考える

と下方（兵十側）に記していきます。どの子も少しずつごんの気持ちが兵十に近づいて（下がって）いくのです。下がり幅はその子によってそれぞれ異なり、そこがまたよいのですが、誰もが真剣にその文の背景にあるごんの様子を思い浮かべよう、ごんの気持ちを読みとろう、とする素敵な姿でした。



## 6年生 筑北中学校文化祭へ



「学習発表会」では、英語劇や家庭科作品のファッションショーを見学しました。その後、「運動会」に参加して、中学生とともに競技をしました。小学校での内容とはひと味もふた味も違う、「中学生らしさ」を感じ取ったようです。

「…ぼくは運動会の進行や学習発表の進行を中学生だけでやっていたり、6年生に指示などを、その場ではんだんして

行動していたり、すごいなと思いました。ぼくは来年中学生になるので、筑北祭の運営などをしっかりできるようにしたいです」

「…私が最後におもったのは、中学生のやさしさです。私はほとんど何も知らないまま筑北祭に行ったのに、中学生のみなさんが『わたしと走るよ～。よろしくね』とか、『これをこうしてね』とかいろんなことをおしえてくれました。うれしかったです」

中学校進学への不安も少なからずあるであろう6年生ではないかと思えます。けれど、今中学生として立派な姿を見せてくれている先輩たちも、同じ頃やっぱりたくさんの不安をかかえていたはずです。中学生の姿をじかに見て、ふれ合って、不安ばかりでなく、尊敬やあこがれの対象にもなっていることが感じられます。一年後の今頃には、「そう言えばわたしたちも、そうだったなあ」と思い起こして、不安を少しでも取り除いてあげようと、小学生に心配りをしてくれる中学生に育ていてくれるのでしょう。

そんなこと、今から考えているとうれしいやら、寂しいやら…。